

令和元年度第1回医療審議会病床整備等検討部会議事概要

日時 令和2年3月16日（月）

16:15～16:50

場所 勤労者福祉会館研修室

議題「特定の診療所に係る特例の適用による病床の設置について」

金丸脳脊椎外科クリニックが新たに一般病床15床を設置することについて、了承された。

部会での主な意見等は以下のとおり。

（委員）クリニックが当初設置をめざしていた19床に対し、15床以下であれば地域医療構想上許容できる、ということだが、そののみをもって地域医療構想との整合性が取れたということを言うのか。

（事務局）地域医療構想意見交換会等では、まず、複数回にわたり、病床の必要性や提供される医療の内容について議論されました。地域の二次救急医療体制として上野総合市民病院、岡波総合病院、名張市立病院による救急輪番制がとられていますが、金丸脳脊椎外科クリニックが輪番当番病院において脳血管疾患の救急患者の受入れが困難な場合、特に脳神経外科の常勤医が1名である上野総合市民病院の輪番日に救急患者を受入れるなど、脳血管疾患に係る救急患者受入体制に協力すること、患者の急変等に対し基本的に自院内で責任を持って対応することなどを確約するのであれば、合意の目安を維持できる15床の範囲内で設置を認める、とされた経緯があります。

（委員）資料では、伊賀地域における脳卒中に関する現状について平成28年の調査結果などが引用されている。この時点より改善されていると思うが、現在もまだ脳卒中に係る医療は不足しているのか。

（事務局）伊賀構想区域における脳卒中対策に係る検討会議では、脳神経外科を有する3病院が持ち寄った最新のデータを踏まえ議論していただいています。ご指摘のとおり以前より改善はされていますが、救急患者への対応についてはまだ不十分な部分もあり、現時点での必要性について確認しています。

（委員）病床を設置した後の医療提供体制について見ていかなければならない。患者の急変等に対し自院で責任を持って完結した医療を提供してもらいたいし、救急のバックアップも行っていただきたい。脳神経外科という特定の診療科の病床を15床設置することについては、その影響や役割も大きいので、しっかりやっていただきたい、ということ、部会の意見としたい。

（事務局）ご意見については開設者に伝えるとともに、設置後は、地域医療構想調整会議等を通して、病床の運営状況について確認していきます。